

【 推 薦 用 紙 記 入 要 領 】

I (1) 推薦者及び候補者名

1. 「表彰の分野」欄は、表彰規定附則(2)の対象分野表の左欄より該当する分野を選んでください。
2. 「推薦順位」欄は、推薦候補者が複数の場合に記入してください。

II (2) 候補者の履歴

1. 「年齢」欄は、平成31年9月20日（「空の日」）時点での年齢を記入してください。
但し、航空亀齡賞については平成31年12月31日時点での年齢を記入してください。
2. 「学歴」欄は、最終学歴を記載してください。また、博士号等の学位取得の履歴がある場合は併せて記入してください。年号は「昭和」は「昭」、「平成」は「平」等省略年号で表記してください。（以下、職歴欄等も同様。）
3. 「職歴」欄は、最初に現職を記入し、以下、主要な経歴について職歴の古い順に、その始期・終期並びに組織（会社等）の名称及び役職名を記入してください。
4. 「団体歴・審議会歴」欄は、経歴がある場合はそれぞれ古い順に区分して記入してください。
団体（民間）歴は、その始期・終期並びに団体の名称及び役職名を記入して下さい。
また、審議会歴は、審議会委員歴について、その始期・終期並びに審議会等の設置省庁名及び名称を記入してください。
5. 「受賞歴」欄は、叙位、叙勲、褒賞及びその他の表彰について、発令・表彰年月及び受賞理由を記入してください。

III (3) 表彰候補者の功績概要(次頁の功績概要記入例を参照の上できるだけ具体的に記入してください)

1. 功績概要は用紙1枚に記入してください。
2. 功績は事績別に記入してください。
3. 功績が複数の分野にわたっている場合は、功績が大きい順に、分野ごとに区分して記入してください。
4. 功績の評価は、客観的な判断に立って行い、具体的な行為やその効果等を含め簡潔に記入してください。抽象的な表現は可能な限り避けてください。
5. 候補者の功績に関する補足資料がある場合には、そのコピー等を添付してください。

1) 航空輸送を発展させた功績

航空技術の飛躍的な向上によりジェット機が導入されると、それによる騒音とともに排気ガスによる空港周辺の大気汚染が航空公害として大きな社会問題になった。大阪国際空港においては、大型ジェット機の乗り入れによる騒音被害がたまたまに住民の間に飛来制限を求めた。氏住、昭和〇〇年、これら公害による被害を軽減することを目的として設立された財団法人〇〇〇〇協会（大気汚染専門委員会）の委員長に就任すると、平成〇年までの永きにわたり、空港周辺の大気汚染問題に取り組み、その対策についてとりまとめ、同協会は、国の施策に取り入れられ、主として羽田、大阪、福岡の各空港に対する環境対策に反映された。昭和〇〇年、大阪国際空港内に、さらに昭和〇〇年には同空港に隣接する豊中市勝部及び伊丹市桑津の両地区に大気汚染常時監視測定室が設置され、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子物質、光化学オキシダント、オゾン、窒素酸化物及び炭化水素類等ならびに気象状況について自動測定器を使用し、今日まで測定調査が続けられている。これら調査の結果、空港周辺の大気汚染の実態を把握することが可能となり、これを基に空港周辺における防止壁の設置及び緑地帯の造成等による大気汚染防止対策、さらにパイパス誘導路の整備等による排出ガス軽減対策が実施された。このような空港環境の改善により、はじめて大型ジェット機（エアバス）の同空港への導入が可能となり航空輸送量を大幅に増大させた。

2) 航空環境の保全に関わる功績

氏は、〇〇大学教授（〇〇科）として務める傍ら、昭和〇〇年7月から同〇〇年3月まで〇〇〇研究所客員研究官として諸外国の主要空港の航空機排気ガスの現状調査等により空港の環境評価を行うとともに、わが国においては、ジェットエンジンの排気ガスの分析を行い、成層圏まで含めた排気ガスの拡散について研究を行った。また、平成〇年4月から同〇年3月までは、財団法人〇〇〇〇協会航空環境研究センター大気汚染部長として空港周辺の大気汚染調査及び航空機エンジンの排出物の分析等による調査、研究を行った。さらに、この間、航空機の地上運航中の排出ガス軽減及び防止のための防止壁効果の調査、航空機離着陸の運航モード測定調査、高速排出ガス採取装置の開発、航空機排出ガス浄化装置技術の基礎調査、航空機エンジン排出物の直接採取調査及び航空機エンジン排出ガス拡散シミュレーション手法の開発等を行った。これらの調査、研究等による成果は、いずれも我が国における空港環境対策の推進において役立つとともに航空環境の保全に大きく貢献するものである。

3) 公職等各種委員会委員としての功績

運輸省（現国土交通省）航空審議会臨時委員、厚生省（現労働厚生省）公害対策審議会委員及び環境庁（現環境省）中央環境審議会専門委員として審議に参加し、国の航空公害対策の策定等に多大な貢献をした。

※ 功績は、重要な功績順に2~3つ以内（団体歴がある場合はその功績も必ず入れて下さい）にまとめて下さい。

また、役職名のみではなく、その方の果たされた役割とその役割に対する客観的な評価を、具体的かつ簡潔に記入していただけますようお願い致します。

※ 文章中のプロジェクト、専門用語・専門的略称等一般的には読んだだけでは分かりにくいと思われるものにつきましては、別紙として、その概要や簡単な説明の補足をお願い致します。

平成 31 年度日本航空協会賞表彰候補者の推薦状

(1) 推薦者及び候補者氏名

推薦団体名		代表者役職名 氏 名	印
担当者役職名 氏 名	TEL		
	E-MAIL		
表彰の種類 (該当に○印)	・航空亀齡賞 ・航空文化賞 ・航空功績賞 ・航空特別賞 ・空の夢賞	表彰の対象 分野	
候補者氏名		推 薦 順 位	

(2) 候補者の履歴

ふりがな 氏 名				(男・女)
生年月日	明・大・昭 年 月 日	年齢 歳	(亀齡賞は12月末、他は9月20日現在の年齢)	
現住所	(〒 -)	TEL ()	FAX ()	
学 歴	年 月			
	年 月			
職 歴 (2行目 より古い 順に記入)	現職	年 月 ~	現在	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
団体歴・ 審議会歴 (2行目 より古い 順に記入)	現職	年 月 ~	現在	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
		年 月 ~	年 月	
受賞歴	年 月			

*記入枠が不足された場合は、別紙に記入し添付してください。

(3) 表彰候補者の功績概要

(サンプルご参照の上、功績が大きい順に具体的にお願い致します。)

(1) 「	」における功績
(2) 「	」における功績
(3) 「	」における功績

[補足資料の添付] () あり / () なし [どちらかに○をつけてください]